



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録 対象：カケハシ・イノウエ第3陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生及び引率者 25 名が 2019 年 3 月 17 日～3 月 24 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：25 名

【訪問地】

東京都、愛知県

2. 日程

- 3/17(日) 来日
- 3/18(月) 【オリエンテーション】
【講義】横浜国立大学 長谷川健治准教授
【視察】国会議事堂
東京都から愛知県へ移動
- 3/19(火) 【歴史的建造物】名古屋城
【視察】徳川園
【学校交流】名城大学
- 3/20(水) 【文化体験】豊田市和紙のふるさと
【企業視察】トヨタ自動車堤工場
【ホームステイ対面式】
- 3/21(木) 【ホームステイ】
【ワークショップ（報告会準備）】
- 3/22(金) 愛知県から東京都へ移動
【視察】日本科学未来館
【視察】東京都庁展望室
【成果報告会】
【交流】米日カウンスル

3/23(土) 【視察】江戸東京博物館
 【視察】明治神宮・原宿
 3/24(日) 【視察】浅草寺
 離日

3. プログラム記録写真



3/18【講義】横浜国立大学



3/19【視察】徳川園



3/19【学校交流】名城大学



3/20【文化体験】豊田市和紙のふるさと



3/22【交流】米日カウンスル



3/24【視察】浅草寺

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本の歴史・文化についての講義では日本の慣習について幅広く紹介いただきました。大変有意義な内容で、この国の背景・歴史についての知識を得ることができました。学校交流は素晴らしい友達と出会う機会を与えてくれました。社会、文化、教育的交流は大切ですが、強い絆と生涯の友情こそが、日米両国間の文化交流をはぐくみ続けるでしょう。国会議事堂は印象的で、皇后陛下や首相など昔の社会階層について学びました。トヨタ自動車では製造ラインの先進性、生産の効率化を知ることができました。また、ホームステイは、日本文化にどっぷりと浸ることができる最高の経験でした。24時間にも満たない滞在で、いろいろな種類の食べ物、着物、茶道、三味線まで体験できるとは想像できませんでした。ホームステイは私にとって一番良かったプログラムです。

◆ 初日の講義は大変情報に富んでおり、日本についての重要な洞察と背景を教えてくださいました。それは、日本を知るうえでとても役に立ちました。学校交流は私の好きなイベントの一つで、多才で素敵な名城大学の学生と生涯続く友情を築くことができました。ソーシャルメディアを通じて彼らとの関係を深め、そして願わくは再び訪問したいと思います。国会議事堂は素晴らしく、カリフォルニアや米国の議事堂の建物、芸術、歴史との比較は興味深かったです。ホームステイはこれまで他で見たことのない日本文化に直に触れる素晴らしい体験でした。全てにおいて、インターネットや教科書では学べない知識を習得することができ、全行程を楽しみました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流受入れ担当者

名城大学学生とソノマ州立大学学生がお互いに再会を非常に喜んでいる姿が印象的でした。会っている時間は、それほど長くないため、お互いをそれほど深く知っているわけではないと思いますが、限られた時間の中でも、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿がお互いにみられ、「相手を受け入れ、知ろう」とすることの大切さを感じました。本学の学生については、受け入れ・派遣を通じて、「準備すること」の大切さを学べたのではないかと思います。

◆ ホストファミリー

短い滞在でしたが、子供とゲームをしたり、いろいろな話をしたりできてよかったです。二人とも、料理やお菓子作りが好きということでしたので、2日目に一緒にサラダ巻とシフォンケーキを作ることができ楽しんでもらえました。日本の家の仕組みに興味をもたれたようで、写真を撮っていました。帰国後もメールで連絡を取りたいと思っています。

6. 参加者の対外発信

 <p>A screenshot of a Facebook post by Omar Diaz. The text reads: "Not only did we create a strong bond with Kakehashi Participants, but with our tour guide as well!" Below the text is a collage of photos showing a group of people smiling, some in traditional Japanese attire, and a tour guide.</p>	 <p>A screenshot of a Facebook post by May Heidtke. The text reads: "Having a great time with our host family!! #kakehashi2018 they were kind enough to let us try on and keep one of their past kimonos! We also tried lots of sushi for example eel and sea urchin sushi for the first time! We went to a shrine and paid our respects to their ancestors. Lastly, we got to play the Shamisen instrument which was kinda ha..." Below the text is a collage of photos showing people in kimono, a shrine, and a person playing a shamisen.</p>
<p>ツアーガイドについての発信 (Facebook) カケハシ・プロジェクトの参加者だけでなくツアーガイドと絆を作ることができました。</p>	<p>ホームステイについての発信 (Facebook) ホストファミリーと素晴らしい時を過ごしています。親切にも昔の着物を着させてくれ、初めてたくさんのお寿司を食べました。神社に行きご先祖様に敬意を示しました。最後に三味線を弾きました。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 <p>The logo for the Kakehashi Inouye Program at Sonoma State University. It features the text "KAKEHASHI INOUYE PROGRAM" and "SONOMA STATE UNIVERSITY" centered on a white background with a dark blue geometric shape at the bottom.</p>
<p>アクション・プランの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真集を作ってそれを友人や家族とシェアする。 ・ パワーポイントのプレゼンテーション, 写真のビデオスライドショー, 情報をクラスで見せる, 同時に日本で購入したものをシェアする。 ・ 私の経験をブログポストに投稿しソノマ州立大学のウェブページにリンクを貼る。 ・ ホストマザーからもらった着物を着ることで日本文化について教える。三味線を弾いている映像を見せる。茶道のパフォーマンスを行う。 ・ 社会学を専攻しているので日本での経験をシニアのセミナークラスで教えて日米の社会規範を比較する。 ・ プリスクールティーチングアシスタントとして, 自宅に持ち帰ったゲームやものを通して生徒たちと日本での経験をシェアする。